# 「バリアフリーフェスタかながわ2016」の概要報告

資料１－１

## １　目的

○　神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議（以下「県民会議」という。）では、障害者、高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方などが安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に参加できる街づくりを進めている。

○　その一環として、県内の障害者等の関係団体や事業者・ＮＰＯ団体、県民からの公募委員、行政の協働により、「バリアフリーフェスタかながわ2016」（以下「フェスタ」という。）を、相模原市内の商業施設において開催した。

○　このフェスタは、県民会議内に設置された実行委員会が企画・立案したもので、その目的は、平成24年９月に県民会議が取りまとめた提案書を広く県民に周知するとともに、バリアフリーの街を体感してもらうことで、バリアフリーの街づくりに対する理解を深めていただくことにある。

〔企画・立案に当たっての考え方〕

・　県民会議の理念に基づき、県民・事業者・行政が協働で実施する。

・　継続的にフェスタが開催できるよう、持続的かつ安定的な開催形態を意識して準備を進める。

・　県民から広く意見を募るよう、開催会場は誰もが自由に参加できるような場を設定する。

・　当事者団体・事業者団体からの参加を積極的に促す。

・　県民から多くの意見をもらえる形式とする。

・　来場者が気軽・身近に感じられる参加型・体験型の内容を中心としつつ、来場者が「大変だね」「かわいそう」では終わらない、バリアフリーの必要性、支えあいの心を自然と身につけるものとする。

・　ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、来場者の誰もが安全・安心に参加できるように配慮したイベントとする。

・　フェスタ全体で統一的なテーマを設定して、各団体のコーナー運営に取り入れる。

## ２　概要

(1) 日時

平成28年10月23日（日）　10：00～16：30

(2) 場所

アリオ橋本（相模原市緑区大山町１番22号 「橋本駅南口」徒歩５分）

(3) 主催

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

構成：学識経験者(4)、障害者団体(7)、関係団体(3)、事業者(8)、公募委員(2) 計24名

(4) 内容

　○　テーマ「災害とバリアフリー社会づくり～私たちにできること～」

○　県民会議構成団体を含む16団体が13コーナーを企画し、運営

○　ステージプログラムも数多く展開

　・メイントークセッション

　　「熊本・東北・神戸から学ぶこと～障がい者の避難生活の現状と取組み～」

参考資料１広報用ちらし、参考資料２トークセッションチラシのとおり

○　スタンプを集めると景品がもらえるスタンプラリーの実施

〔スタンプラリーの達成条件〕

・　コーナー３か所、ステージ１か所以上のスタンプを、スタンプラリー台紙に集める。

・　フロントガーデンのコーナーの中で、必ず１つのスタンプは集めるものとする。

・　上記に加えて、アンケートへの回答を景品引換の達成条件とする。

(5) 参加者数　※〔　〕は昨年の数字

・　コーナー参加者数　1,830名〔2,054名〕（各団体でカウントした参加者の合計人数）

・　スタンプラリー達成者数　 247名〔 322名〕